

C-130輸送機による人員降下訓練における連日のパラシュート落下について（口頭要請）

平成31年1月9日、昨日に続き、横田基地において人員降下訓練中に切り離れたメインパラシュートが基地内に落下する事故が再び発生した。なお、デプロイメントバッグ（※1）が未だ発見されておらず、基地外への落下の可能性も否定できない。

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会では、本日1月9日午前にも、昨日の事故発生に対し「今回の事故の徹底的な原因究明を行うこと、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと」を求めたところである。

にもかかわらず、事故原因の究明及び再発防止策について何ら説明がないまま訓練が実施され、再度同様の事故が起きたことは周辺住民の不安を増大させるものであり、極めて遺憾である。

ついては、以下のことを強く要請する。（※2）

- 1 度重なる事故について徹底的な原因究明を行うとともに、再発防止策が講じられるまで同様の訓練を実施しないこと。
- 2 事故原因及び再発防止策に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

※1 予備のパラシュートを収納するナイロン生地バッグ

※2 国に対しては、「ついては、以下のことについて対応するよう、米軍への申し入れを強く要請する。」と要請

平成31年1月9日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
オーティス C. ジョーンズ大佐 殿

北関東防衛局長 吉田 廣太郎 殿

横田防衛事務所長 五十嵐 昭紀 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	福生市長	加 藤	育 男
	立川市長	清 水	庄 平
	昭島市長	白 井	伸 介
	武蔵村山市長	藤 野	勝
	羽村市長	並 木	心
	瑞穂町長	杉 浦	裕 之